

# 施策評価調書(1)

評価対象年度 30年度

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課／(経済部)グリーンセンター／(生涯学習部)生涯学習課・文化推進室・中央図書館・科学館・スポーツ課

**●施策の基本方針(目標)**

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

**●目標指標**

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	32.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	32.7	34.6	29.3				
	名称	生涯学習施設*の利用者数(*公民館等、図書館、科学館、スポーツ施設)			単位	人	指標の種別	結果
指標②	目標値	6,953,000(平成32年度)		現状値	6,492,941(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	6,888,325	6,694,045	6,685,118				
	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
指標③	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
指標④	実績値							
	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							

\*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度計画額
事業額	事業費	2,100,192	3,177,196	3,820,816	3,599,475	2,478,776
	概算人件費	640,154	604,804	627,230	583,332	587,598
	総事業費	2,740,346	3,782,000	4,448,046	4,182,807	3,066,374

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 54	単位施策③ 52	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.3	

施策評価調書(2)

評価対象年度 30年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 生涯学習活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23100103	公民館施設整備費	生涯学習部	3,027	52,477	229,250	105,787	105,787	53	現状維持 で実施
		生涯学習課	3,198	1,404	2,054	2,054	2,054		
23100113	公民館施設維持補修費	生涯学習部	61,785	47,860	33,545	16,000	16,000	50	現状維持 で実施
		生涯学習課	3,608	1,248	1,264	1,264	1,264		
23100153	新郷南公民館 耐震改修事業	生涯学習部	4,662	24,107	112,274	—	—	53	完了
		生涯学習課	0	2,652	2,686	—	—		
23100301	社会教育活動運営事業	生涯学習部	2,066	2,022	2,098	2,357	2,357	56	現状維持 で実施
		生涯学習課	410	390	395	395	395		
23100401	施設予約システム事業 (平成30年度休止)	生涯学習部	7,395	—	—	—	—	—	—
		生涯学習課	4,100	—	—	—	—		
23100501	市民大学事業	生涯学習部	2,342	1,772	3,835	4,282	4,282	56	現状維持 で実施
		生涯学習課	4,920	4,680	4,740	4,740	4,740		
23100601	人材バンク事業	生涯学習部	5	20	0	5	24	52	拡充して 実施
		生涯学習課	1,230	1,170	1,896	1,896	1,896		
23100701	子ども大学かわぐち 実行委員会交付事業	生涯学習部	437	367	421	437	437	54	現状維持 で実施
		生涯学習課	2,706	2,574	2,607	2,607	2,607		
23100801	社会教育団体育成事業	生涯学習部	36	45	24	72	72	55	効率化して 実施
		生涯学習課	820	780	790	790	790		
23100901	社会教育団体補助事業	生涯学習部	1,195	1,195	1,145	1,145	1,145	46	現状維持 で実施
		生涯学習課	164	156	158	158	158		
23101001	公民館施設運営費	生涯学習部	163,417	171,486	99,301	116,950	116,950	52	現状維持 で実施
		生涯学習課	5,084	3,588	3,160	3,160	3,160		
23101101	中央ふれあい館 施設運営費	生涯学習部	913	731	8,853	10,795	10,795	50	効率化して 実施
		生涯学習課	23,800	29,190	31,410	31,410	31,410		
23101201	婦人会館施設運営費	生涯学習部	575	464	2,483	—	—	58	他事業に 統合されて 実施
		生涯学習課	21,400	26,700	31,100	—	—		
23101301	青少年会館施設運営費 (平成28年度をもって完了)	生涯学習部	215	—	—	—	—	—	—
		生涯学習課	21,400	—	—	—	—		
23101401	文化会館施設運営費	生涯学習部	770	641	777	1,417	786	54	拡充して 実施
		生涯学習課	24,700	26,300	26,400	26,400	26,400		
23101501	図書館施設運営費	生涯学習部	410,613	408,576	431,851	513,460	513,460	56	現状維持 で実施
		中央図書館	287,000	273,000	276,500	276,500	276,500		
23101601	社会教育施設 指定管理者管理運営費	生涯学習部	68,915	68,915	68,915	—	—	56	完了
		中央図書館	820	780	790	—	—		
23101701	科学展示施設運営費	生涯学習部	41,742	41,119	41,443	41,820	41,820	52	現状維持 で実施
		科学館	24,764	22,152	20,856	18,565	18,565		
23101801	天文台施設運営費	生涯学習部	721	804	732	852	852	58	現状維持 で実施
		科学館	11,972	11,154	11,613	12,561	12,561		
23101901	プラネタリウム 施設運営費	生涯学習部	14,365	14,573	16,821	17,309	17,309	56	現状維持 で実施
		科学館	14,268	13,182	13,035	13,272	13,272		
23102001	特別企画事業費	生涯学習部	11,738	9,047	9,285	7,131	7,131	56	現状維持 で実施
		科学館	8,118	7,878	7,426	7,110	7,110		

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23200101	体育施設耐震診断事業 (平成29年度をもって完了)	生涯学習部 スポーツ課	—	8,964	—	—	—	—	—
			—	468	—	—	—		
23200114	新郷スポーツセンター 耐震改修事業	生涯学習部 スポーツ課	18,105	166,646	795,199	—	—	58	完了
			574	546	553	—	—		
23200122	オリンピック・パラリンピック 事前キャンプ地誘致等事業	生涯学習部 スポーツ課	—	860	846	993	—	58	現状維持 で実施
			—	6,630	6,715	6,715	—		
23200132	オリンピック・パラリンピック 普及啓発事業	生涯学習部 スポーツ課	—	—	1,868	21,940	2,970	58	現状維持 で実施
			—	—	6,399	6,399	6,399		
23200142	オリンピック・パラリンピック 強化指定選手激励金交付事業	生涯学習部 スポーツ課	—	1,456	1,712	2,000	2,500	52	現状維持 で実施
			—	7,800	7,900	7,900	7,900		
23200152	体育施設維持補修費	生涯学習部 スポーツ課	76,777	61,754	72,171	47,124	47,124	58	現状維持 で実施
			1,886	1,794	1,817	1,817	1,817		
23200162	体育施設整備費	生涯学習部 スポーツ課	—	206,662	334,874	463,778	415,017	58	現状維持 で実施
			—	624	632	632	632		
23200182	青木町公園総合運動場 陸上競技場耐震改修事業	生涯学習部 スポーツ課	—	36,383	295,362	—	—	58	完了
			—	546	553	—	—		
23200201	青木町公園総合運動場 庭球場人工芝改修事業 (平成28年度をもって完了)	生涯学習部 スポーツ課	63,990	—	—	—	—	—	—
			1,230	—	—	—	—		
23200222	芝スポーツセンター耐震 改修事業(平成30年度休止)	生涯学習部 スポーツ課	—	13,738	—	878,338	—	—	—
			—	546	—	553	—		
23200244	東スポーツセンター 設備改修事業	生涯学習部 スポーツ課	—	128,277	50,910	127,000	—	58	現状維持 で実施
			—	468	474	474	—		
23200264	西スポーツセンター 設備改修事業	生涯学習部 スポーツ課	—	149,348	61,260	50,397	—	58	現状維持 で実施
			—	468	474	474	—		
23200281	青木町公園総合運動場 プール設備改修事業 (平成29年度をもって完了)	生涯学習部 スポーツ課	—	236,263	—	—	—	—	—
			—	468	—	—	—		
23200301	流水プール施設運営費	経済部 グリーンセンター	39,609	39,954	40,042	54,115	54,403	44	現状維持 で実施
			6,304	7,488	7,584	7,584	7,584		
23200401	スポーツ推進審議会 事業	生涯学習部 スポーツ課	193	186	172	208	208	50	現状維持 で実施
			2,050	1,950	1,975	1,975	1,975		
23200501	中学校・高等学校 運動指導者派遣事業	生涯学習部 スポーツ課	1,577	1,720	1,787	2,095	2,095	50	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23200601	各種体育大会開催事業	生涯学習部 スポーツ課	236	238	222	463	463	50	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23200701	体育関係表彰事業	生涯学習部 スポーツ課	675	679	742	432	432	52	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23200801	ツデーマーチ 実行委員会交付金	生涯学習部 スポーツ課	1,700	1,700	2,700	1,700	2,102	50	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23200901	学校体育協会事業	生涯学習部 スポーツ課	3,193	2,949	3,047	3,360	3,360	50	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23201001	スポーツ協会事業	生涯学習部 スポーツ課	53,843	53,843	58,292	60,044	62,273	60	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23201101	スポーツ推進委員 協議会事業	生涯学習部 スポーツ課	12,389	12,457	12,460	13,945	13,251	60	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23201201	レクリエーション協会 事業	生涯学習部 スポーツ課	3,878	3,878	3,845	4,878	3,878	48	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23201301	スポーツ少年団事業	生涯学習部 スポーツ課	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	46	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23201401	スポーツ推進補助事業	生涯学習部 スポーツ課	15,602	15,606	15,408	15,927	15,927	48	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
23201501	青木町公園総合運動場・体育武道 センター指定管理者管理運営費	生涯学習部 スポーツ課	154,286	154,947	155,408	156,839	158,278	56	現状維持 で実施
			2,050	1,794	1,185	1,185	1,185		
23201601	戸塚スポーツセンター 指定管理者管理運営費	生涯学習部 スポーツ課	134,796	134,986	135,669	137,150	138,408	58	現状維持 で実施
			2,050	1,794	1,185	1,185	1,185		
23201701	施設予約システム事業 (平成28年度をもって完了)	生涯学習部 スポーツ課	13,662	—	—	—	—	—	—
			2,050	—	—	—	—		
23201802	青木町公園総合運動場陸上 競技場第3種公認取得事業	生涯学習部 スポーツ課	131,477	256,632	4,854	—	—	58	完了
			1,230	390	395	—	—		
23201901	スポーツ教室開催 事業費	生涯学習部 スポーツ課	1,158	903	924	1,209	1,209	60	現状維持 で実施
			19,800	18,500	18,500	18,500	18,500		

単位施策名		③ 文化芸術活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300102	文化芸術鑑賞事業	生涯学習部 文化推進室	745	193	245	320	320	56	現状維持 で実施
			1,394	1,326	1,185	1,185	2,528		
23300202	アートギャラリー 企画関係費	生涯学習部 文化推進室	19,947	14,810	15,647	17,524	17,524	52	現状維持 で実施
			13,120	12,480	12,640	12,640	12,640		
23300212	伊奈半十郎忠治像 建立事業	生涯学習部 文化推進室	1,588	6,140	1,442	—	—	52	完了
			902	858	948	—	—		
23300301	総合文化センター 指定管理者管理運営費	市民生活部 自治振興課	484,014	476,370	503,500	502,612	502,612	54	現状維持 で実施
			1,476	1,170	1,343	1,343	1,343		
23300403	総合文化センター 維持補修費	市民生活部 自治振興課	37,638	109,442	135,392	159,427	159,427	52	拡充して 実施
			902	1,170	3,239	3,239	3,239		
23300502	市民コンサート事業	生涯学習部 文化推進室	463	798	503	803	803	52	現状維持 で実施
			2,214	2,106	1,659	1,659	2,765		
23300601	芸術賞賞賜事業	生涯学習部 文化推進室	870	714	740	1,104	1,104	52	現状維持 で実施
			1,804	1,716	1,580	1,580	3,081		
23300702	文化振興交付事業	生涯学習部 文化推進室	15,452	14,828	13,240	12,747	12,597	52	効率化して 実施
			15,580	8,502	6,636	6,636	13,509		
23300712	歴史自然資料館 活用事業	生涯学習部 文化推進室	—	—	159	1,084	1,184	50	現状維持 で実施
			—	—	1,975	2,607	2,607		
23300722	美術館建設基本構想 策定事業	生涯学習部 文化推進室	—	—	9,851	—	—	52	完了
			—	—	2,844	—	—		
23300801	旧芝園中学校アトリエ 利用事業	生涯学習部 文化推進室	250	300	324	—	—	52	完了
			1,230	1,170	948	—	—		
23300811	特別展覧会事業	生涯学習部 文化推進室	—	—	8,594	—	—	52	完了
			—	—	2,844	—	—		

単位施策名 ③ 文化芸術活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300901	文化団体補助事業	生涯学習部	1,554	1,650	1,650	2,356	2,356	50	拡充して 実施
		文化推進室	1,066	1,014	948	948	2,607		
23301001	アートギャラリー 事業運営費	生涯学習部	12,391	13,501	15,502	16,544	16,544	54	現状維持 で実施
		文化推進室	14,760	14,040	14,220	14,220	14,220		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23100103	事業名称	公民館施設整備費	事業区分	主要な事業 その他
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7654	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚公民館	戸塚公民館利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口グリーンエナジー戦略計画に基づき、環境に配慮した照明器具等を設置する。	戸塚公民館のLED照明器具借上。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	戸塚公民館のLED照明器具を借上げた。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	LED照明の設置により環境負荷の低減に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	002細目	03細々目	公民館施設整備費			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	3,027	53,792	238,381	105,787	105,787					
決算額(B)=(C)+(D)	3,027	52,477	229,250							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	3,027	52,477	229,250	105,787					
概算人件費(E)	3,198	1,404	2,054	2,054	2,054					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.39	0.00	0.18	0.00	0.26	0.00	0.26	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,225	53,881	231,304	107,841	107,841					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	LED照明器具の借上期間満了後の照明の取り扱いが課題である。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23100113	事業名称	公民館施設維持補修費	事業区分	主要な事業 その他
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7654	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内公民館	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公民館の補修工事により施設の長寿命化を図るとともに、安全で快適な生涯学習活動の場を提供する。	建物の各種補修工事を行う。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	新郷公民館 壁面補修工事(南側・東側面) 前川公民館 屋上防水工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	利用者の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を推進した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	06目	002細目	02細々目	公民館施設維持補修費	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	78,152	47,914	33,839	16,000	16,000			
決算額(B)=(C)+(D)	61,785	47,860	33,545					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	61,785	47,860	33,545	16,000			
概算人件費(E)	3,608	1,248	1,264	1,264	1,264			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.44	0.00	0.16	0.00	0.16	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	65,393	49,108	34,809	17,264	17,264			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	今後個別施設計画を策定し、施設の長寿命化を図る。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23100153	事業名称	新郷南公民館耐震改修事業	事業区分	主要な事業 その他
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先 048-259-7654	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	新郷南公民館	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが明らかになった社会教育施設について、建替工事により利用者及び地域住民の安全を確保すること。	耐震診断の結果を受け、新郷スポーツセンターと新郷南公民館の耐震補強工事を行う。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	耐震補強工事(平成29~30年度2ヵ年継続事業)	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	十分な成果が得られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	002細目	04細々目	新郷南公民館耐震改修事業		
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	5,120	59,916		114,429		—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	4,662	24,107		112,274					
財源※	特定財源(C)	1,700	9,800		59,000		—	—	
	一般財源(D)	2,962	14,307		53,274		—	—	
概算人件費(E)	0	2,652		2,686		—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.34	0.00	—	—	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,662	26,759		114,960		—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性	
53 /60	平成30年度に耐震補強工事は完了した。	元年度	完了
		2年度	—
		3年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23100301	事業名称	社会教育活動運営事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市非常勤の特別職職員報酬及び費用弁償に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	社会教育関係委員	社会教育施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	社会教育の諸事業について、審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させるため。	社会教育関係委員会議を開催し、事業内容等を審議する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	社会教育関係委員会議・公民館運営審議会・青少年婦人教育施設運営審議会・中央ふれあい館運営審議会を開催した。	項目	実績	単位
		社会教育委員会議	1	回
公民館運営審議会等	36	回		
事業の成果【定性的評価】	社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数			指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会の開催回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	36		36		36		36		36
	実績値・達成状況	37	達成	36	達成	37	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	002細目	01細々目	社会教育活動運営事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	3,012	2,758		2,466		2,357		2,357		
決算額(B)=(C)+(D)	2,066	2,022		2,098						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,066		2,022		2,098		2,357		
概算人件費(E)	410		390		395		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,476		2,412		2,493		2,752		2,752	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	特になし	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23100501	事業名称	市民大学事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市民大学設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	生涯学習社会が進展する中で、市民の高度で多様な学習要求に応える。市民が「生きがいがづくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。	市内外の高等教育機関や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等を取りあげる講座を開催する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	人材バンク魅学、大学教授など多くのジャンルから講師を招き、歴史、英会話、情報機器などの広い分野の講座を開催した。	項目	実績 単位
		川口市民大学講座実施回数	152 回
事業の成果 【定性的評価】	市民大学として、歴史、芸術、情報、自然科学など多岐にわたる37講座、152回を実施し、延べ4,751人が受講され、市民の学習意欲に応えることができた。公開講座ではさかなクンを講師として招き、小学生以上を受講可能とし、受講生から高い満足を得られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市民大学講座数			指標・目標値の説明(算定式)	教育委員会主催講座(10講座)及び社会教育施設主催講座(28講座)を実施。1講座4回以上開催。				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	156 達成	155 達成	152 達成	152 達成	152 達成				
指標②	名称	受講生の満足度			指標・目標値の説明(算定式)	教育委員会主催講座(10講座)における受講生アンケートにおいて、「とても満足」「満足」と回答した割合の平均値。				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	86.10 達成	87.90 達成	88.90 達成	80 達成	80 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	01細々目	市民大学事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	2,820	2,763	4,245	4,282	4,282					
決算額(B)=(C)+(D)	2,342	1,772	3,835							
財源※	特定財源(C)	132	189	253	300					
	一般財源(D)	2,210	1,583	3,582	3,982					
概算人件費(E)	4,920	4,680	4,740	4,740	4,740					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,262	6,452	8,575	9,022	9,022					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	講座開催日時や内容を工夫して、若い世代の方も参加しやすくなるような企画をしているところではあるが、人気のある講座以外にも、新規の講師を招いたり、内容を工夫して講座を開催して参りたい。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23100601	事業名称	人材バンク事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市人材バンク「魅学」設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住、在勤または市内で活動している16歳以上の個人または団体	市内在住・在勤・在学の方、市内で活動している団体、市内の教育関連施設等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	豊富な知識や経験を持つ個人及び団体の情報を「人材バンク」に登録し、指導者やボランティアとして紹介することで、市民の生涯学習活動や学校における教育活動を支援し、お互いの生きがいづくり、人づくりにつなげていくことを目的とする。	生涯学習に関する資格・技術や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲を持った市民を人材バンクに登録し、自らの自己実現のために生涯学習活動に対し指導者として紹介する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・平成30年度は159人の登録者のうち、61件の活用があった。 ・小・中学校においては、地域ふれあい授業やクラブ・部活動、放課後子供教室において活用があった。加えて社会教育施設等においても、歌や家庭教育講座、健康体操で登録のある講師が活用された。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	豊富な知識や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲のある登録者や団体を、自らの自己実現のために生涯学習活動への参加を希望する個人や団体に紹介することにより、双方の自己充足を図る機会を提供することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人材バンク魅学依頼件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の依頼件数の平均値		
	単位	件	指標の種別	結果				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	45 達成	54 達成	61 達成				
指標②	名称	人材バンク魅学登録者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の登録者数の平均値		
	単位	人	指標の種別	結果				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	210 未達成	227 達成	159 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	02細々目	人材バンク事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	30	24		24		5	24			
決算額(B)=(C)+(D)	5	20		0						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	5		20		0	5			
概算人件費(E)	1,230		1,170		1,896		1,896		1,896	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.24	0.00	0.24	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,235		1,190		1,896		1,901		1,920	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	ボランティア・指導者登録者または団体の登録件数に対し、学習者の依頼が少ないことが課題である。改善方策としては、社会教育施設や学校等において、登録者が活躍できるよう積極的に啓発に努めていく。	元年度	拡充して実施
		2年度	拡充して実施
		3年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23100701	事業名称	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	子ども大学かわぐち実行委員会設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民(市内小学校4~6年生児童)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	子どもの学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で地域の子どもの育てる仕組みを創るために、知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。	「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の3つのテーマに沿って、大学教員や様々な分野のプロフェッショナルが、子どもの疑問に優しく答える講義や体験を提供する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	○大学教員によるグループワーク ○SRによる鉄道体験学習プログラム ○みどり課職員による植木の講義と植木企業によるミニ植木づくり ○NPOによるプログラミング学習 ○消防局職員による消防・救急体験	項目	実績	単位
		申込者数	51	人
事業の成果 【定性的評価】	参加児童アンケートによると「とても貴重な体験ができた。これからは活かしたい。」「みんなで協力してやりとげる事がよかったです。」など、知的好奇心を満足させる学びであったことがわかった。保護者アンケートも同様であった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	申込者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去参加申込数の平均値				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	112 達成	208 達成	51 未達成						
指標②	名称	受講者アンケート(とても満足した)			指標・目標値の説明(算定式)	過去受講者アンケートの平均値				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	91.89 達成	83.61 達成	92.30 達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	04細々目	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	437	437	426	437	437					
決算額(B)=(C)+(D)	437	367	421							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	437	367	421	437					
概算人件費(E)	2,706	2,574	2,607	2,607	2,607					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,143	2,941	3,028	3,044	3,044					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	例年に比べて応募者数が少なかった。参加者の満足度は高かったため、より多くの子どもが参加できるよう、開催の時期や曜日、会場など、アンケート結果から見えてきた点を踏まえて改善していく必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23100801	事業名称	社会教育団体育成事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市公民館等社会教育関係団体育成事業に係わる事業費交付要項

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	社会教育施設利用者および社会教育関係団体等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	健全な施設運営および社会教育事業の推進を図るため、社会教育関係団体のリーダーとしての資質の向上や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援促進に寄与する。	健全な施設運営および社会教育事業の推進を図ることを念頭に、社会教育関係団体のリーダーとして必要な知識もしくは社会教育施設の利用に関する研修会等の実施や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援および促進に結びつく事業を実施する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	社会教育施設長等が講師となり、施設の利用に関する説明会や外部講師や市職員を登用し、社会教育・生涯学習について学習する事業を実施した。また、施設で活動する団体と共催して活動の促進に結びつく事業を実施した。	項目	実績	単位
		社会教育関係団体クラブリーダー研修	30	事業
		社会教育関係団体共催事業	2	事業
事業の成果 【定性的評価】	32事業を実施し、のべ1428人の参加があり、リーダーとしての資質向上や、団体の学習活動の支援促進に寄与することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業実施数			指標・目標値の説明(算定式)	市内の公民館等の全施設において企画・実施を目指す。(中央ふれあい館及び婦人会館を含む35館)				
	単位	事業数	指標の種別	活動						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	37	達成	35	達成	32	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	01細々目	社会教育団体育成事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	135	72	72	72	72					
決算額(B)=(C)+(D)	36	45	24							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	36	45	24	72					
概算人件費(E)	820	780	790	790	790					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	856	825	814	862	862					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
55 /60	主体的参加が求められることから、事業数や参加者数では成果が見えない側面がある。また、限りある財源の中で、内容を工夫して事業を実施しているところである。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23100901	事業名称	社会教育団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7654	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、各種補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市PTA連合会 川口市婦人団体連絡協議会	川口市で教育を受ける子供 婦人団体活動に関わる市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	各団体の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図るため。	補助金の交付	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	講演会及び研修費等の主催事業等、各団体の活動内容が充実し、それぞれの活動目的の進展に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	02細々目	社会教育団体補助事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	1,195	1,195		1,145		1,145	1,145			
決算額(B)=(C)+(D)	1,195	1,195		1,145						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,195	1,195		1,145		1,145	1,145		
概算人件費(E)	164	156		158		158	158			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,359	1,351		1,303		1,303	1,303			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	特になし。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23101001	事業名称	公民館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7654	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館等社会教育施設	公民館等社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・多種多様な講座を実施した。 ・施設の改修を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	830		830		830		830		830
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	001細目	01細々目	公民館施設運営費				
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度			
予算額(A)	191,172	177,202		108,697		116,950		116,950			
決算額(B)=(C)+(D)	163,417	171,486		99,301							
財源※	特定財源(C)	33,481	35,735		36,698		36,434				
	一般財源(D)	129,936	135,751		62,603		80,516				
概算人件費(E)	5,084	3,588		3,160		3,160		3,160			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.62	0.00	0.46	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	168,501	175,074		102,461		120,110		120,110			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
52 /60	幅広い年齢層の方々が利用しており、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実が求められている。このことから、事業の企画は十分に市民ニーズを把握した上で、魅力ある内容の事業を実施するよう努める。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23101101	事業名称	中央ふれあい館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-222-2798	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座の開設	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	子どもや高齢者向けの年齢層に応じた講座のほか、趣味・実技の習得を目的とした講座を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	川口駅に近いという利便性があるため、講座への参加者や施設利用者が多く、市民の生涯学習活動の支援に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	262,821 達成		254,989 達成		271,566 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	03目	001細目	01細々目	中央ふれあい館施設運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	1,045	1,004		10,497		10,795		10,795		
決算額(B)=(C)+(D)	913	731		8,853						
財源※	特定財源(C)	913	731		8,853		10,795			
	一般財源(D)	0	0		0		0			
概算人件費(E)	23,800	29,190		31,410		31,410		31,410		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.85	5.10	1.75	4.20	3.25	1.55	3.25	1.55
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,713	29,921		40,263		42,205		42,205		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	今後も利用率が低下しないように施設の良い維持・管理に努めるとともに、地域の多様化しているニーズを速やかに把握し、講座内容に反映できるよう検討することが肝要である。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23101201	事業名称	婦人会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-253-1444	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立婦人会館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	婦人会館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の文化と教養を高め、社会生活の向上を図るとともに、幼児の教育と福祉の増進に寄与する。	子育て支援や趣味・教養の充実。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	赤ちゃんサロン 子育て支援講座 旬彩クッキング パン作り教室 ゆかた着付け教室	項目	実績 単位
		赤ちゃんサロン	14 回
		子育て支援講座	3 回
事業の成果 【定性的評価】	子育て支援(親子のふれあいや離乳食についての学び)に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	34,974 達成		34,404 達成		30,609 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	04目	001細目	01細々目	婦人会館施設運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	596	465		2,698		-		-		
決算額(B)=(C)+(D)	575	464		2,483						
財源※	特定財源(C)	0		0		-		-		
	一般財源(D)	575		464		2,483		-		
概算人件費(E)	21,400		26,700		31,100		-		-	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	4.00	2.00	3.00	3.00	2.00	-	-
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,975		27,164		33,583		-		-	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	費用対効果を見極め、ニーズの把握に努め、施設の特徴に応じた事業を選択していく。他課での主催事業の利用減少、新施設開館準備のため2月末をもって貸館事業ならびに自主事業を中止したことにより、年間利用者数が平成29年度と比べて減少した。平成30年度で婦人会館は閉館。平成31年度から隣接する新施設にて事業を引き続き行う。	元年度	他事業に統合されて実施
		2年度	-
		3年度	-

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23101401	事業名称	文化会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-222-3612	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 58 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化会館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。	音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。 ①おかあさんコーラスの集い ②サロンコンサート ③文化講演会	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	音楽会、講演会などの主催および共催事業 ①おかあさんコーラスの集い...5/20 参加者310名 ②サロンコンサート...7/6 参加者135名 ③文化講演会...10/6 参加者290名	項目	実績 単位
		おかあさんコーラスの集い	1 回
		サロンコンサート	1 回
事業の成果 【定性的評価】	市民の芸術・文化活動の発展に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	770 未達成		445 未達成		735 未達成					
指標②	名称	年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	69,219 達成		27,483 未達成		45,285 未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	05目	001細目	01細々目	文化会館施設運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	785	813		784		1,417		786		
決算額(B)=(C)+(D)	770	641		777						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	770		641		777		1,417		
概算人件費(E)	24,700		26,300		26,400		26,400		26,400	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	5.00	1.00	5.00	1.00	5.00	1.00	5.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,470		26,941		27,177		27,817		27,186	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	改修工事等の進捗により、古い施設ながらも快適な利用環境がよみがえりつつある。今でも、床のタイルが剥がれている、廊下部分に空調が入らないなどの課題は残っているが、今後とも関係部署と連携しながら施設の整備に努めていく。	元年度	拡充して実施
		2年度	拡充して実施
		3年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23101501	事業名称	図書館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先	258-1110(#69-2986)	新規・継続
					継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度	～	年度	年度	
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則				

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	全市民(施設利用者)	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	市民の知的自由を支え、知的要求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援することを目的とする。	生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。			
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	利用者の利便性の向上のため可能な限り開館し、また絵本の読み聞かせやストーリーテリングを通じて、子ども達に本を手渡す機会を作る。さらに、図書館が近くにない地区に住んでいる市民のニーズには移動図書館車の運営により応える。		項目	実績	単位
			開館日数	356	日
			おはなし会	471	回
		移動図書館巡回回数	269	回	
事業の成果【定性的評価】	活動結果として、入館者数1,774,491人、おはなし会参加人数6,785人、移動図書館利用者数4,064人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにすると共に、社会の一員としての能力を高めるとい生涯学習の充実へ寄与した。				

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	1,870,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000					
	実績値・達成状況	1,800,432 未達成	1,769,106 未達成	1,774,491 未達成						
指標②	名称	おはなし会参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数 目標値:前年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	7,300	6,800	6,800	6,800					
	実績値・達成状況	6,805 未達成	6,751 未達成	6,785 未達成						

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	06目	002細目	01細々目	図書館施設運営費				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
予算額(A)	448,479	413,308	436,503	513,460	513,460						
決算額(B)=(C)+(D)	410,613	408,576	431,851								
財源※	特定財源(C)	37,651	32,086	33,682	4,009						
	一般財源(D)	372,962	376,490	398,169	509,451						
概算人件費(E)		287,000	273,000	276,500	276,500	276,500					
従事職員人数(人)		常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		697,613	681,576	708,351	789,960	789,960					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	市民の生涯学習へのニーズが多様化しているなか、既存の利用者に対するイベント等の取り組みに留まることなく、他課との連携など、新たな利用者に向けて図書館の魅力を発信する必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23101601	事業名称	社会教育施設指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先 258-1110(#69-2986)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央図書館視聴覚ホール及び映像・情報メディアセンターを運営する事業者	全市民(施設利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	多様化する住民ニーズに対し、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経営の効率化等を図ることを目的としている。	指定管理者により、中央図書館視聴覚ホール及び映像・情報メディアセンターの管理並びに各種ワークショップやイベント等の事業サービスを実施する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	年度を通じて、施設の貸出しとワークショップ、講座、講演会・展示及び上映会を実施した。	項目	実績 単位
		ワークショップ開催回数	54 回
		各種講座開催回数	97 回
		上映会開催回数	75 回
事業の成果 【定性的評価】	活動結果として、ワークショップに875人、各種講座に1,214人、上映会に3,804人の参加があった。 成果として、利用者に対して特色のあるイベント等のサービスが提供でき、住民サービスの向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	主催事業参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標：講座、ワークショップ等主催事業の参加人数 目標値：過去4年間の実績を参考に決定		
	単位	人	指標の種別	結果				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	8,200	8,500	8,500	未達成			
	実績値	8,871	達成	8,773	達成	7,283	未達成	
指標②	名称	貸出施設・機器利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標：プレゼンテーションスタジオ、録音スタジオ、編集スタジオ、館内貸出機器の利用件数 目標値：過去4年間の実績を参考に決定		
	単位	件	指標の種別	結果				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	22,100	22,000	22,000	未達成			
	実績値	22,802	達成	21,785	未達成	19,312	未達成	

4 年度別事業費(単位：千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	07目	001細目	01細々目	社会教育施設指定管理者管理運営費	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	68,915	68,915	68,915	—	—			
決算額(B)=(C)+(D)	68,915	68,915	68,915	—	—			
財源※	特定財源(C)	0	0	0	—			
	一般財源(D)	68,915	68,915	68,915	—			
概算人件費(E)	820	780	790	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	69,735	69,695	69,705	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	課題は、施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。 平成30年度に指定管理者の選考を行い、平成31年度から新しい指定管理者となった。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23101701	事業名称	科学展示施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、科学出張教室参加者、チャレンジサイエンス参加者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	・実験ショー、科学体験教室、科学出張教室などの実施 ・展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	実験ショー「サイエンスショー」、身近な素材を使った簡単な科学ものづくり「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・観察・実験を行う「どきどきサイエンス」(インストラクター委託による)、講義と観察・実験・工作を組み合わせた「夏休み科学教室」等及び展示解説を行った。	項目	実績	単位
		サイエンスショー参加者数	6,017	人
		わくわくワーク参加者数	20,104	人
どきどきサイエンス参加者数	3,461	人		
事業の成果【定性的評価】	科学現象の原理原則を学ぶ展示装置や、科学の基礎を学習する科学実験ショーや科学ものづくり教室等を展開し大人から子どもまで楽しみながら学べ、また、学校における授業の一環として効果的に活用された。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	科学展示施設入場者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値					80,000	85,520	78,308	79,639	80,993
	実績値・達成状況					73,399 未達成	76,999 未達成	79,475 達成		
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	館外事業参加者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値					3,909	4,179	7,823	7,956	8,091
	実績値・達成状況					6,381 達成	7,692 達成	9,791 達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	01細々目	科学展示施設運営費					
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	41,802	44,071		41,643		41,820	41,820					
決算額(B)=(C)+(D)	41,742	41,119		41,443								
財源※	特定財源(C)	6,727	7,176		7,296		6,728					
	一般財源(D)	35,015	33,943		34,147		35,092					
概算人件費(E)	24,764	22,152		20,856		18,565	18,565					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.02	0.00	2.84	0.00	2.64	0.00	2.35	0.00	2.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	66,506		63,271		62,299		60,385	60,385				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	実験ショーや科学教室、地域学校連携となる館外事業の実施については、内容の充実や実施方法の改善など、他館の事業を参考にしながら利用者の満足度を高める工夫を今後も続けていく必要がある。また、開館から15年以上が経過し、老朽化が進んでいる展示装置の更新のため、展示装置改修事業として要望を出し、予算の枠内で更新を図りたい。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23101801	事業名称	天文台施設運営費		事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学館利用者、出張事業参加者、ホームページ閲覧者、関係機関	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。	夜間観測会、天文台ガイドツアー、太陽観測実習、特別観測会、太陽観測出張授業、夜間出張観望会を行うもの。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	屋上の天文台でその日によく見える惑星や月、星雲などを観察する夜間観測会を開催。天文台に設置された3種類の望遠鏡と副天文台での太陽観測を天文台ガイドツアーで案内。太陽観測出張授業では主に市内小学校6年生と中学校3年生を対象に小型太陽望遠鏡を用いた太陽の観察授業を実施。	項目	実績	単位
		夜間観測会参加者数	444	人
		天文台ガイドツアー参加者数	281	人
太陽観測出張授業参加者数	1,608	人		
事業の成果【定性的評価】	火星と地球が15年ぶりに大接近した大きく明るい火星の表面の様子を多くの方が実際に観測。部分日食の観測会では、小型望遠鏡や遮光板等を使用し、欠けていく太陽を実際に観測し300人を超える方が参加。専門性の高い学習機会となった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び出張授業参加者数 定員及び平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	1,915		2,047		1,268		1,290		1,312
実績値・達成状況	1,040	未達成	1,247	未達成	1,989	達成				
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	太陽観測出張授業に参加した人数 定員及び平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	922		986		1,276		1,298		1,320
実績値・達成状況	1,235	達成	1,255	達成	1,608	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	02細々目	天文台施設運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	725	809		751		852		852		
決算額(B)=(C)+(D)	721	804		732						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	721	804		732		852			
概算人件費(E)	11,972	11,154		11,613		12,561		12,561		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.46	0.00	1.43	0.00	1.47	0.00	1.59	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,693	11,958		12,345		13,413		13,413		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	実施の可否が天候や時間に左右され開催が制限されるため、すべてを予定通りに実施することは難しいが、実際に自分の目で見る体験は貴重であるため、テーマの研究や予備日を設ける等により可能な限り参加の機会を提供していく。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23101901	事業名称	プラネタリウム施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	プラネタリウム施設利用者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。	一般投影、キッズアワー、学習投影、宇宙の教室、星空リラクゼーション、星空と朗読、天文講演会等を開催。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業の委託を行うもの。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	一般投影(小学生～一般)、キッズアワー(幼児・小学校低学年とその保護者)、学習投影(市内小学校4年生、中学校1年生、幼稚園・保育所)、特別事業では中学生以上を対象とした天文講座や専門性の高い講演会等を開催した。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業は委託した。	項目	実績	単位
		一般投影観覧者数	17,925	人
キッズアワー観覧者数		5,419	人	
学習投影観覧者数	8,582	人		
事業の成果【定性的評価】	プラネタリウムの機能を活用した自然に近い星空から専門職員が惑星や星座、月、天文トピックスを交え詳しく解説を行うことで、天文学を中心に宇宙探査機などの技術の進歩や自然科学について学習する機会となり、満足度の高いものとなった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	プラネタリウム観覧者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績を参考に設定)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	34,293	未達成	35,975	未達成	36,262	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	03細々目	プラネタリウム施設運営費					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度							
予算額(A)	14,446	14,583	16,822	17,309	17,309							
決算額(B)=(C)+(D)	14,365	14,573	16,821									
財源※	特定財源(C)	6,420	6,628	6,767	6,427							
	一般財源(D)	7,945	7,945	10,054	10,882							
概算人件費(E)	14,268	13,182	13,035	13,272	13,272							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.74	0.00	1.69	0.00	1.65	0.00	1.68	0.00	1.68	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,633	27,755	29,856	30,581	30,581							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	時節の話題や天文現象などを考慮し事業を進めていく中で、一般的な解説だけでなく専門性の高い内容を求められることも多い。市民ニーズに対応するためには、情報収集や他館等の事業について研究が必要である。引き続きアンケートなどを参考に企画・立案を行い、より専門性を高めるとともに満足度の高い学習機会となるよう努める。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23102001	事業名称	特別企画事業費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、市内中・高校生	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	一つのテーマを掘り下げる特別展を開催することで、通常の展示とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。また、中学生から高校生を対象とした専門性の高い講演会を開催し、参加した生徒が課題意識を持ち、生涯にわたり学ぶ力を身に付ける場を提供する。	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの人材派遣や展示物の借用、テーマに精通した業者への委託等を活用し、特別展などを開催。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	館独自の企画立案による、他館等と連携して展示物を借用し開催した特別展のほか、テーマに精通した業者への委託を活用し、大人から子どもまで幅広い世代の学びが深まる特別展を開催した。また、宇宙飛行士若田光一氏により、自身の経験を交え、夢の実現に向けた講演を開催した。	項目	実績	単位
		特別展入場者数	19,675	人
サイエンスまつり入場者数	8,260	人		
宇宙飛行士講演会入場者数	387	人		
事業の成果【定性的評価】	テーマが異なる特別展ごとに、対象となる年齢層を定め、新たな利用者の獲得ができた。また、常設展示装置では学ぶことのできない、話題性や地域性のあるテーマを定めることで、利用者の満足度を向上させることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	特別展等を見学した人数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	26,304	未達成	29,405	未達成	28,322	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	04細々目	特別企画事業費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	12,023	9,246		11,386		7,131		7,131		
決算額(B)=(C)+(D)	11,738	9,047		9,285						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	11,738	9,047		9,285		7,131			
概算人件費(E)	8,118	7,878		7,426		7,110		7,110		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.99	0.00	1.01	0.00	0.94	0.00	0.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	19,856		16,925		16,711		14,241		14,241	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	利用者の関心が高いテーマの選択と、予算範囲内で充実した特別展等を開催するためには、十分な情報収集と準備・検討が必要である。今後も館独自の企画立案による特別企画事業を行うためにも、他館の情報収集や職員の研修などを十分に行い、利用者のニーズに沿った、満足度の高い事業を展開していく必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23200114	事業名称	新郷スポーツセンター耐震改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2476)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	新郷スポーツセンター	新郷スポーツセンター利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが判明した体育施設について、補強工事等により耐震化を図り、利用者及び地域住民の安全を確保する。	平成29～30年度 耐震補強工事及び内外装・設備等工事	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	新郷スポーツセンター耐震補強等工事 (平成29～30年度2ヵ年継続事業)	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	耐震補強等工事が完了し、利用者が安全・安心に施設を利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	08細々目	新郷スポーツセンター耐震改修事業		
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	19,882	417,151		808,610		—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	18,105	166,646		795,199					
財源※	特定財源(C)	12,200	68,800		413,300		—	—	
	一般財源(D)	5,905	97,846		381,899		—	—	
概算人件費(E)	574	546		553		—	—		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.07 0.00	0.07 0.00	0.07 0.00	0.00	—	—	—	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	18,679	167,192		795,752		—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	平成30年度耐震補強等工事完了。	元年度	完了
		2年度	—
		3年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23200122	事業名称	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2476)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・事前キャンプ地視察団 ・市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 市民	
事業の概要	事業の目的(何のために) オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致等の活動を行うもの。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致の活動における視察等、関係機関との連絡調整を図るもの。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたイベントの開催により、スポーツの普及促進並びに機運の醸成を図るもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 事前キャンプ地視察団受け入れ オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント開催	主な実績	
		項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	事前キャンプ地誘致国の決定に向け外国視察団を受け入れを行った。オリンピック・パラリンピック機運醸成イベントを開催し、トップアスリートに直接触れる機会を通じてスポーツの普及促進や機運醸成を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	機運醸成イベント			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況			2 達成		1 達成				
指標②	名称	事前キャンプ地視察団			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	カ国	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況			3 達成		2 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	11細々目	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	—	1,087		993		993		—		
決算額(B)=(C)+(D)	—	860		846						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	860		846		993				
概算人件費(E)	—		6,630		6,715		6,715		—	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.85	0.00	0.85	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		7,490		7,561		7,708		—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	各国視察団の受け入れをしているが、事前キャンプ地として協議・締結に至っていないため、今後も積極的に視察を受け入れていく。また、機運醸成イベントを開催し競技種目の実技体験を通じてトップアスリートに直接触れる機会をつくりスポーツの普及促進並びに機運醸成を図っていく。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	完了

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200132	事業名称	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2476)	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	旧国立競技場の炬火台	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	旧国立競技場の炬火台が、平成31年10月から平成32年3月まで本市への貸与が決定されたため、川口駅東口公共広場(キュポ・ラ広場)へ展示するための台座設置工事を行い、炬火台を設置し、多くの市民に披露するもの。	炬火台台座設置工事に伴う実施設計委託を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	炬火台台座設置工事に伴う実施設計委託	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	炬火台台座設置工事に向けて実施設計委託を行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	06細々目	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	—	—		1,869		21,940	2,970			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—		1,868						
財源※	特定財源(C)	—		0		0				
	一般財源(D)	—		1,868		21,940				
概算人件費(E)	—		—		6,399	6,399	6,399			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.81	0.00	0.81	0.00	0.81	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		—		8,267	28,339	9,369			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	炬火台を川口駅東口公共広場(キュポ・ラ広場)に設置し、多くの市民に披露することにより、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、より一層の機運醸成を図っていく。	元年度 現状維持で実施 2年度 縮小して実施 3年度 完了

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23200142	事業名称	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2468)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	JOC強化指定選手又は、JOC加盟団体強化指定選手 JPC強化指定選手又は、JPC加盟団体強化指定選手 埼玉県「彩の国2020ドリームアスリート」強化指定選手 埼玉県「埼玉パラドリームアスリート」強化指定選手	同左のうち、市内在住者、市内在勤者、市内在学者、過去に市内に住居しかつ在学していた者。	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	オリンピック・パラリンピック強化指定選手に激励金を交付することにより大会出場に向けた競技力の向上を図るとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック、パラリンピックに向けた機運醸成を図ることを目的とする。	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付するもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	優秀な選手を称え、競技活動を支援するとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成に良い影響を与えた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	07細々目	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	—	1,700		2,000		2,000	2,500			
決算額(B)=(C)+(D)	—	1,456		1,712						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,456		1,712		2,000				
概算人件費(E)	—		7,800		7,900		7,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		9,256		9,612		9,900			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	東京オリンピック・パラリンピック後の事業継続について検討を必要とする。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200152	事業名称	体育施設維持補修費	事業区分	主要な事業 政策宣言6
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2476)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事	項目	実績
		単位	
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	02細々目	体育施設維持補修費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	77,299	63,807		76,171		47,124	47,124			
決算額(B)=(C)+(D)	76,777	61,754		72,171						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	76,777	61,754		72,171		47,124	47,124		
概算人件費(E)	1,886	1,794		1,817		1,817	1,817			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	78,663	63,548		73,988		48,941	48,941			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200162	事業名称	体育施設整備費	事業区分	主要な事業 政策宣言6
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2476)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
		老朽化した体育施設の改修び整備工事	
		項目	実績
		単位	
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	03細々目	体育施設整備費	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	
予算額(A)	—	352,907		359,613		463,778	415,017	
決算額(B)=(C)+(D)	—	206,662		334,874				
財源※	特定財源(C)	—	99,600		0		455,420	
	一般財源(D)	—	107,062		334,874		8,358	
概算人件費(E)		—	624		632		632	632
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.08	0.00	0.08	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	207,286		335,506		464,410	415,649	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200182	事業名称	青木町公園総合運動場陸上競技場耐震改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2476)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが判明した体育施設について、補強工事等により耐震化を図り、利用者及び地域住民の安全を確保する。	平成29年度 耐震補強工事及び設備等工事 平成30年度 耐震補強工事及び内外装・設備等工事	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	青木町公園総合運動場陸上競技場耐震補強等工事(平成29~30年度2ヵ年継続事業)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	耐震補強等工事が完了し、利用者が安全・安心に施設を利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	07細々目	青木町公園総合運動場陸上競技場耐震改修事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	—	141,698	295,363	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	—	36,383	295,362				
財源※	特定財源(C)	—	0	195,000	—		
	一般財源(D)	—	36,383	100,362	—		
概算人件費(E)	—	546	553	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	36,929	295,915	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	平成30年度耐震補強等工事完了。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23200244	事業名称	東スポーツセンター設備改修事業		事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2476)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	東スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	東スポーツセンタープールオゾン装置改修工事 東スポーツセンター軟水器取替工事 東スポーツセンター浴室改修工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	09細々目	東スポーツセンター設備改修事業	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	
予算額(A)	—	186,000		58,768		127,000	—	
決算額(B)=(C)+(D)	—	128,277		50,910				
財源※	特定財源(C)	—		0		0	—	
	一般財源(D)	—		128,277		50,910	127,000	—
概算人件費(E)		—		468		474	474	—
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.06	0.00	0.06	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		128,745		51,384		127,474	—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	完了

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23200264	事業名称	西スポーツセンター設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2476)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	西スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	西スポーツセンタープールオゾン装置改修工事 西スポーツセンター自動火災報知設備ほか改修工事 西スポーツセンター屋根ほか漏水補修工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	10細々目	西スポーツセンター設備改修事業	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	
予算額(A)	—	157,955		66,704		50,397	—	
決算額(B)=(C)+(D)	—	149,348		61,260				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		
	一般財源(D)	149,348		61,260		50,397		
概算人件費(E)	468		474		474	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.00	0.06	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	149,816		61,734		50,871	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	完了
		3年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200301	事業名称	流水プール施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	レクリエーション施設である流水プール場(冬期はアイススケート場)を提供し、心身の健康増進に寄与する。	流水プール場及びアイススケート場の開場期間中における安全・安心な施設運営を行なう。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	流水プール場及びアイススケート場の運営維持管理(委託)、機械設備等の点検・自主検査、会場に向けての施設の不具合箇所等の修繕を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	安全・安心な施設運営ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	流水プール場(夏季)とアイススケート場(冬季)の入場者数(過去10年間の平均入場者数)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	75,984 未達成		75,612 未達成		80,705 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	06目	003細目	01細々目	流水プール施設運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	40,658	40,728		40,762		54,115		54,403		
決算額(B)=(C)+(D)	39,609	39,954		40,042						
財源※	特定財源(C)	16,991	21,230		17,708		19,693			
	一般財源(D)	22,618	18,724		22,334		34,422			
概算人件費(E)	6,304	7,488		7,584		7,584		7,584		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.64	0.32	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	45,913		47,442		47,626		61,699		61,987	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	施設・設備の老朽化が顕著であり、今後実施するグリーンセンター活性化基本計画の中で、費用対効果も考慮し、今後の運営方法について検討を行っていく。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200401	事業名称	スポーツ推進審議会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2476)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。	年2回程度会議を開催。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(平成30年7月23日) 第2回川口市スポーツ推進審議会(平成31年1月22日)	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	01細々目	スポーツ推進審議会事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	208	208		208		208		208		
決算額(B)=(C)+(D)	193	186		172						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	193		172		208				
概算人件費(E)	2,050		1,950		1,975		1,975		1,975	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,243		2,136		2,147		2,183		2,183	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23200501	事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2469)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部	中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行う	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行った	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市内中学校・高等学校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、地域の指導者を活用することにより、運動部活動と地域社会との連携を促進し、指導者の資質向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校26人、高等学校3人、計29人					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	実績値・達成状況		27 未達成	27 未達成							
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	02細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	1,979	1,979	1,979	2,095	2,095					
決算額(B)=(C)+(D)	1,577	1,720	1,787							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	1,577	1,720	1,787	2,095					
概算人件費(E)	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,777	9,520	9,687	9,995	9,995					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	外部指導者の種目が偏らないようにしていく。また、指導者としての資質、人格について申請学校との確認が必要。 技術指導に対して専門的な知識のない教員にとっては負担軽減の一助となるため、今後実施希望校が増加するおそれがあり、派遣校の調整が必要。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200601	事業名称	各種体育大会開催事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2469)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	体育大会開催要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	児童	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童の健全育成を目的に、スポーツ活動をおとして児童の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	スポーツ大会を通じ、技量の向上と相互の交流を図るとともに、地域社会における正しい集団生活と望ましい社会道徳を身につけさせ、青少年の健全育成が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数 市内小学校52校×1校平均55人×年2回=5,720人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	5,810 達成		5,789 達成		5,647 未達成				
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	少年少女スポーツ大会参加者数 市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人=338人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	362 達成		377 達成		363 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	03細々目	各種体育大会開催事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	249	243		223		463		463		
決算額(B)=(C)+(D)	236	238		222						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	236		238		222		463		
概算人件費(E)	8,200		7,800		7,900		7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,436		8,038		8,122		8,363		8,363	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	なわとび大会において、参加者の多い学校とそうでない学校との差が大きいので、大会周知や希望調査に工夫・改善が必要である。 なわとび大会では参加者による交通渋滞が発生するため、駐車場への誘導や案内に課題がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200701	事業名称	体育関係表彰事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2469)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手	受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託</li> <li>中学校駅伝大会表彰</li> <li>スポーツ推進委員10年以上表彰</li> <li>ふれあいなわとび大会の表彰</li> </ul>	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	中学校駅伝大会(10月19日:川口オートレース場) ふれあいなわとび大会(11月10日、3月2日の2日間開催) 川口市体育三賞授与式(1月25日:川口リア音楽ホール)	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	国際大会、国内大会において素晴らしい成績を残すアスリートが増加した。各種大会において出場者の入賞に向けての意欲が高揚した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 令和2年度
	実績値・達成状況				
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 令和2年度
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	04細々目	体育関係表彰事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	706	693		807		432	432			
決算額(B)=(C)+(D)	675	679		742						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	675		679		742	432			
概算人件費(E)	8,200		7,800		7,900	7,900		7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,875		8,479		8,642	8,332		8,332		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	川口市体育三賞の受賞者の市民への周知方法を検討する。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23200801	事業名称	ツデーマーチ実行委員会交付金	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2469)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツデーマーチ実行委員会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供する。	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	平成30年9月22日、23日に第11回川口ツデーマーチを中核市移行記念として実施した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	1日目1576人、2日目1422人、2日間計2998人の参加者のもと、開催した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	05細々目	ツデーマーチ実行委員会交付金			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	1,700	1,700		2,700		1,700	2,102			
決算額(B)=(C)+(D)	1,700	1,700		2,700						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,700	1,700		2,700		1,700			
概算人件費(E)	8,200	7,800		7,900		7,900	7,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,900	9,500		10,600		9,600	10,002			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	市内の参加者が減少していることから、市民に対しての広報活動を充実させる必要がある。参加者のニーズにあったコース設定など参加者にとって魅力的な大会にしていく必要がある。大会運営費の見直しが必要である。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23200901	事業名称	学校体育協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2469)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法/学校体育奨励交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市学校体育協会	市立小・中・高等学校の児童、生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上大会 ・小学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	各種大会・記録会を開催することにより、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。各種大会への参加により、スポーツ実践への意欲が高まり、体力の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	01細々目	学校体育協会事業	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	3,425	3,295	3,360	3,360	3,360			
決算額(B)=(C)+(D)	3,193	2,949	3,047					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	3,193	2,949	3,047	3,360			
概算人件費(E)	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,393	10,749	10,947	11,260	11,260			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	児童・生徒の運動の二極化の改善に向けて、各校種段階での取り組み方について検討をする。今後も継続的にスポーツ教室・大会等を開催する他、児童・生徒が参加しやすい仕組みを検討する必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23201001	事業名称	スポーツ協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2469)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市スポーツ協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの功績を表彰し榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激し、スポーツの普及発展につなげ、また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図ることが目的である。	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなり、更にスポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	02細々目	スポーツ協会事業	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	
予算額(A)	53,844	53,844		58,293		60,044	62,273	
決算額(B)=(C)+(D)	53,843	53,843		58,292				
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	53,843	53,843		58,292		60,044	
概算人件費(E)	8,200	7,800		7,900		7,900	7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	62,043	61,643		66,192		67,944	70,173	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	市民スポーツの普及促進について、スポーツ教室、表彰等は大変重要であり、継続的に行う必要がある。今後においても、スポーツ教室、表彰体系、広報の方法等について更に検討をするもの。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23201101	事業名称	スポーツ推進委員協議会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2469)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市民の求めに応じてスポーツの実技や指導を行い、積極的に地域の大会やイベントにも関わることにより、市民スポーツの推進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。				
	単位	回(数)	指標の種別	活動		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	5	達成	5	達成	5	達成			
指標②	名称	スポーツ推進委員数			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	人(数)	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	298	—	296	—	298	—			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	03細々目	スポーツ推進委員協議会事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	12,983	13,068		13,016		13,945	13,251			
決算額(B)=(C)+(D)	12,389	12,457		12,460						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	12,389	12,457		12,460		13,945	13,251		
概算人件費(E)	8,200	7,800		7,900		7,900	7,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,589	20,257		20,360		21,845	21,151			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	スポーツ推進委員の活動については、各地域により特色が強く出ているため、統一的な活動状況の確保は困難である。今後は、スポーツ推進委員の質を高めつつ、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に進めていく必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23201201	事業名称	レクリエーション協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2468)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会</li> <li>市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校)</li> <li>市民レクリエーション祭</li> <li>各種大会沿道警備</li> </ul>	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会</li> <li>市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校)</li> <li>市民レクリエーション祭</li> <li>各種大会沿道警備</li> </ul>	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	広く市民にスポーツレクリエーションを奨励し、健康増進を図ると共に市民相互のふれあいの場を提供することにより地域交流が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	04細々目	レクリエーション協会事業	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	3,878	3,878	3,845	4,878	3,878			
決算額(B)=(C)+(D)	3,878	3,878	3,845					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	3,878	3,878	3,845	4,878			
概算人件費(E)	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,078	11,678	11,745	12,778	11,778			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	市民ニーズがますます増大することが考えられることから、調査研究が必要である。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23201301	事業名称	スポーツ少年団事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2468)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある青少年を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・母集団研修 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・母集団研修 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	各種大会により団員の競技力・体力の向上はもとより、活動を通じた自主性の育成が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			平成28年度	平成29年度
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	05細々目	スポーツ少年団事業	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	
予算額(A)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200	
決算額(B)=(C)+(D)	1,200	1,200		1,200				
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200
概算人件費(E)	8,200	7,800		7,900		7,900	7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,400	9,000		9,100		9,100	9,100	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということに関係者によく理解してもらう。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23201401	事業名称	スポーツ推進補助事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2468)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱/県代表選手派遣交付金交付基準等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在住在勤の方 ・派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内に住所を有する方及び在勤・在学の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	・各公民館地区におけるスポーツ事業の育成のための交付 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・各公民館地区におけるスポーツ事業の育成のための交付 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	・地区大会の実績が報告され、スポーツを通じ地域コミュニティが活性できた。 ・競技力の向上により、優秀な選手を輩出できた。 ・スポーツレクリエーションに安心して参加ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	06細々目	スポーツ推進補助事業				
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	15,927	15,927		15,927		15,927	15,927				
決算額(B)=(C)+(D)	15,602	15,606		15,408							
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0	0			
	一般財源(D)	15,602	15,606		15,408		15,927	15,927			
概算人件費(E)	8,200	7,800		7,900		7,900	7,900				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	23,802	23,406		23,308		23,827	23,827				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	・事業の簡素化や経費の削減の検討が必要。 ・全国大会等に出場する選手が増えているため予算の増額の検討が必要。 ・長年、交付基準と交付額の見直しがされていない。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23201501	事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2466)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務等を委託した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	428,762	未達成	432,228	未達成	471,191	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	04細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	154,286	154,948		155,408		156,839	158,278			
決算額(B)=(C)+(D)	154,286	154,947		155,408						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	154,286	154,947		155,408		156,839	158,278		
概算人件費(E)	2,050	1,794		1,185		1,185	1,185			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.23	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	156,336	156,741		156,593		158,024	159,463			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	指定管理者制度施設と直営施設におけるサービスの格差が生じる恐れがある。直営施設に対する余波を研究しながら、今後の施設管理を検討する。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23201601	事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(2466)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	民間ノウハウを活用し、質の高いサービスを提供をすともコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、コナミスポーツ・日環サービスグループに施設全般の管理運営業務等を委託した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の競技力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	482,130	達成	500,679	達成	505,306	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	05細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	134,797	134,986		135,669		137,150	138,408			
決算額(B)=(C)+(D)	134,796	134,986		135,669						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	134,796	134,986		135,669		137,150	138,408		
概算人件費(E)	2,050	1,794		1,185		1,185	1,185			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.23	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	136,846	136,780		136,854		138,335	139,593			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	指定管理者制度施設と直営施設におけるサービスの格差が生じる恐れがある。直営施設に対する余波を研究しながら、今後の施設管理を検討する。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23201802	事業名称	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2476)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場走路の損傷が激しく不具合が生じている状況であり、利用者への利便性を向上及び日本陸上競技連盟の公認を取得するため改修工事を行うもの。	青木町公園総合運動場陸上競技場の計測器配線工事を行うもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	青木町公園総合運動場陸上競技場計測器配線工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	青木町公園総合運動場陸上競技場走路等の改修を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	06細々目	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	131,477	259,067	5,690	—	—			
決算額(B)=(C)+(D)	131,477	256,632	4,854					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	—	—		
	一般財源(D)	131,477	256,632	4,854	—	—		
概算人件費(E)	1,230	390	395	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.05	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	132,707	257,022	5,249	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	限られた財源の中で利用者の安全・安心を確保していく必要がある。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23201901	事業名称	スポーツ教室開催事業費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(2469)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室受講者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催するもの。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層で開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげることができ、川口市のスポーツ振興に貢献することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数/開催回数(目標回数))				
	単位	教室	指標の種別	活動		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	13		12	11					
	実績値・達成状況	12	未達成	10	未達成	10	未達成			
指標②	名称	教室参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数/開催回数(目標回数)」				
	単位	人(数)	指標の種別	結果		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	2,235		1,935	1,840					
	実績値・達成状況	1,677	未達成	1,296	未達成	1,320	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	01細々目	スポーツ教室開催事業費				
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	1,181	924		1,007		1,209	1,209				
決算額(B)=(C)+(D)	1,158	903		924							
財源※	特定財源(C)	1,158	903		924		1,209	1,209			
	一般財源(D)	0	0		0		0	0			
概算人件費(E)	19,800	18,500		18,500		18,500	18,500				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	6.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,958	19,403		19,424		19,709	19,709				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	各スポーツ施設で開催内容を検討するものであり均一ではない。 自主性が問われるものであるため、今後も引き続き開催について検討してもらいたい。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23300102	事業名称	文化芸術鑑賞事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	幅広い分野の文化・芸術に関する事業の開催を通して市民が多彩なジャンルの文化・芸術を鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。	市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、夏休みの小・中・高校生の生徒を対象とした文化・芸術活動(特に伝統文化・伝統芸能)の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・小学生から高校生を対象に、平成30年8月24日、25日と2日に分けて「子ども能楽教室」を実施。 ・会場は、旧田中家住宅日本間を使用。 ・川口ふれあい能楽会協力のもと、日本の伝統芸能「能楽」を体験。	項目	実績
		「子ども能楽教室」開催回数	1 回
		「子ども能楽教室」参加人数(児童19人、親5人)	24 人
事業の成果 【定性的評価】	日常ではあまり触れることの無い、能楽の舞や実際に使用されている面を着用する等、参加者は非常に興味を持って能楽を体験していた。アンケートでも、満足と答えた参加者が多く、文化芸術に高い関心を示したことで、文化力の向上に寄与したと思われる。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	発表会への観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	42人(前年度開催1日間観覧者数)×(開催期間 0.5日間+0.5日間)×1.1(前年比10%増)			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況	244	141	46					
	実績値・達成状況	257 達成	42 未達成	120 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	02細々目	文化芸術鑑賞事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	915	440	438	320	320					
決算額(B)=(C)+(D)	745	193	245							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	745	193	245	320					
概算人件費(E)	1,394	1,326	1,185	1,185	2,528					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.15	0.00	0.32	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,139	1,519	1,430	1,505	2,848					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	参加者、観覧者の関心を得られる、より興味深い実施内容(日常生活では経験することが少ない文化事業等)を検討、実施する。さらに、文化芸術団体、個人の指導者に働きかけ、発表の場を提供することにより事業を継続的にを行い、また広い分野において協力者を得ることに努める。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23300202	事業名称	アートギャラリー企画関係費			事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、企画展を通じてアートへの関心を高め、美術の鑑賞・創作活動の場を提供し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報 ・展覧会実施に伴う展示制作 ・展覧会会場の管理・運営	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・自主企画展覧会を6事業、157日実施した。 ・ワークショップを2事業、2日実施した。 ・実技講座・鑑賞講座・アートさんぽを3事業、4日実施した。 ・企画展関連イベントを24事業、28日実施した。	項目	実績 単位
		春の企画展<地域のなかのアートな居場所>	2,078 人
		アーティストインスクール<樹々あそび庭々>	1,870 人
		アートな年賀状展2019	1,969 人
事業の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主企画事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	14,850 達成	9,472 未達成	9,406 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	001細目	02細々目	アートギャラリー企画関係費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	21,482	18,454		17,398		17,524		17,524		
決算額(B)=(C)+(D)	19,947	14,810		15,647						
財源※	特定財源(C)	0		314		240				
	一般財源(D)	19,947		15,333		17,284				
概算人件費(E)	13,120		12,480		12,640		12,640		12,640	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	33,067		27,290		28,287		30,164		30,164	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	観覧料の有無や講座等の内容・実施時期によっては入場(参加)者が少ないことがある。今後においても、企画内容の充実は元より、自主企画、ワークショップ、講座等について、新聞等のメディアやウェブ等を積極的に活用し、また、より有効な広報手段を研究し、市内外を問わず幅広く来場者に情報を発信できるよう改善を目指す。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23300212	事業名称	伊奈半十郎忠治像建立事業			事業区分	主要な事業 政策宣言36
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)		新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市に縁のある偉人であり、赤山陣屋の初代として関東郡代の基礎を築いた、伊奈半十郎忠治を顕彰しその功績を称え、像を建立することにより、市民に郷土の歴史を広く周知し、文化・郷土学習の推進及び郷土愛の育成を図り、併せて川口市のシンボルを目指す。	赤山歴史自然公園内に、伊奈半十郎忠治像の銅像を建立する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	銅像の台座を制作し、設置する。台座に付した銘板には、伊奈氏の功績を記した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	銅像台、銘板を設置し、今年度をもって銅像建立が完了した。時代考証を行った銅像に銘板を付すことにより、歴史自然資料館内の展示室における伊奈家の歴史の案内と連携した事業となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	06細々目	伊奈半十郎忠治像建立事業	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	
予算額(A)	5,940	6,565		1,442		—	—	
決算額(B)=(C)+(D)	1,588	6,140		1,442				
財源※	特定財源(C)	0		0		—	—	
	一般財源(D)	1,588	6,140		1,442		—	—
概算人件費(E)	902	858		948		—	—	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.11	0.00	0.11	0.00	0.12	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,490	6,998		2,390		—	—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	シンボルとしての銅像建立が完了したことにより、市民及び交流市民に対する、川口市への郷土愛の育成につながった。今後は関係各課と調整しながら、伊奈氏の功績を広く周知していく。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23300301	事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	総合文化センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口総合文化センターの施設管理及び運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口総合文化センターの施設管理</li> <li>地域に対する文化芸術の振興</li> </ul>	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理者制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した	主な実績	
		項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	事故等問題なく運営できた		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	22目	001細目	01細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	490,370	484,370		503,500		502,612		502,612		
決算額(B)=(C)+(D)	484,014	476,370		503,500						
財源※	特定財源(C)	64,555	64,555		64,555		64,989			
	一般財源(D)	419,459	411,815		438,945		437,623			
概算人件費(E)	1,476	1,170		1,343		1,343		1,343		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.18 0.00	0.15 0.00	0.17 0.00	0.17 0.00	0.17 0.00	0.17 0.00	0.17 0.00	0.17 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	485,490	477,540		504,843		503,955		503,955		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	不明	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	特になし	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23300403	事業名称	総合文化センター維持補修費	事業区分	主要な事業 その他
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先 258-1110	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	総合文化センター	施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	総合文化センターの施設管理	総合文化センターの維持管理、施設修繕		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・施設の改修、修繕 ・大規模改修に向けた共同調査研究	主な実績		
		項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	特になし			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	22目	001細目	03歳々目	総合文化センター維持補修費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	37,638	109,443		140,772		159,427	159,427			
決算額(B)=(C)+(D)	37,638	109,442		135,392						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	37,638	109,442		135,392		159,427	159,427		
概算人件費(E)	902	1,170		3,239		3,239	3,239			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.11	0.00	0.15	0.00	0.41	0.00	0.41	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	38,540	110,612		138,631		162,666	162,666			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	不明	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	開館後28年が経過し、大規模改修に向けた検討をしていく必要がある。 本年度実施した基礎調査を基に、来年度以降、より具体的な検討を進めていく。	元年度 拡充して実施 2年度 拡充して実施 3年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23300502	事業名称	市民コンサート事業			事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	広く市民が多様な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。	市の施設を活用し、多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト登録制度に登録する若手アーティストの活動の場を提供する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	平成30年9月22日(土)「市民コンサートinアリオ川口」 平成30年11月3日(土)「空色のハーモニー」	項目	実績 単位
		市民コンサート回数	2 回
事業の成果 【定性的評価】	・「市民コンサートinアリオ川口」入場者数518人、「空色のハーモニー」入場者数286人 ・市内で活動する音楽家の活躍の場を提供するとともに、市民が気軽に多様な音楽への興味・関心を持つ機会になった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	272人(前年度(3回開催)1回あたり平均入場者数)×2回(実施回数)×1.1(前年比10%増)			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況	355 未達成	816 達成	804 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	01細々目	市民コンサート事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	739	935		986		803	803			
決算額(B)=(C)+(D)	463	798		503						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	463	798		503		803	803		
概算人件費(E)	2,214	2,106		1,659		1,659	2,765			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.27	0.00	0.27	0.00	0.21	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,677	2,904		2,162		2,462	3,568			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	ショッピングセンターアリオ川口にて開催したことで、買い物客が気軽に音楽に触れ、楽しめる機会を提供できた。また、「空色のハーモニー」は文化三賞表彰式と同日に実施し、相互の集客につながった。今後も会場の選択肢として、企業との協力、他の事業との連携などを検討していきたい。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23300601	事業名称	芸術賞賞賜事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、各種表彰規程

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するものである。	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・11月3日川口駅前市民ホール「フレンディア」にて文化三賞表彰式と市民コンサートを実施。「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。 ・昨年度文化賞受賞者 深井勝己氏写真展、今年度文化賞受賞者 金杉登喜子氏指導の折り紙夢工房ミニ作品展を実施。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	・受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を、広く市民あてに顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数(139人)×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	実績値・達成状況	211	達成	139	未達成	286	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	03細々目	芸術賞賞賜事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	898	920		1,035		1,104	1,104			
決算額(B)=(C)+(D)	870	714		740						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	870	714		740		1,104	1,104		
概算人件費(E)	1,804	1,716		1,580		1,580	3,081			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.22	0.00	0.20	0.00	0.39	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,674		2,430		2,320		2,684		4,185	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	今年度は2部構成とし、第1部に表彰式、第2部に市民コンサートを実施したことで一般の方が入りやすく感じたためか、昨年に比べ来場者数が増となった。誇りを生み、尊敬の気持ちを持たせることはその活動のすそ野を広げることから、分野の偏り無く、今後も推薦数が増えるよう関係団体への周知を強化するとともに、一般来場者の興味を引くような企画を検討していく。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23300702	事業名称	文化振興交付事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化芸術活動を行う個人や団体	文化芸術を享受する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立てる。	市内の文化芸術活動を行う個人や団体を補助金の交付によって支援することにより、活動の継続・発展、ひいては市の文化力向上に寄与する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・市内で文化活動を行っている個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て、11団体に助成金を交付。 ・初午太鼓コンクール、文化祭実行委員会、青少年ピアノコンクール実行委員会、美術展実行委員会、芸術祭実行委員会、日光御成道川口囲碁祭実行委員会へ補助金を交付。	項目	実績	単位
		文化振興助成金の交付件数	11	件
		実行委員会	6	件
事業の成果 【定性的評価】	・文化振興助成事業助成金交付団体数11団体、補助金交付事業団体数6団体 ・市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加、鑑賞する機会を提供した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数			指標・目標値の説明(算定式)	11(前年交付要望件数)+1件					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	10 達成		11 達成		11 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	04細々目	文化振興交付事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	19,518	15,475		13,555		12,747		12,597		
決算額(B)=(C)+(D)	15,452	14,828		13,240						
財源※	特定財源(C)	2,420	1,797		1,824		2,251			
	一般財源(D)	13,032	13,031		11,416		10,496			
概算人件費(E)	15,580	8,502		6,636		6,636		13,509		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.09	0.00	0.84	0.00	1.71	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	31,032		23,330		19,876		19,383		26,106	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	文化振興基金による助成制度、基金への寄付及び国・県・企業の助成制度等について、更なる関係団体への周知を強化するとともに、後援希望の団体への周知にも力を入れることにより、補助金交付団体の自立の一助となることを目指す。	元年度	効率化して実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23300712	事業名称	歴史自然資料館活用事業	事業区分	主要な事業 政策宣言36
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続
					新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民(観光客含む)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	歴史自然資料館において、幅広い分野の文化・芸術に関する事業を開催し、市民(観光客含む)が文化芸術を体験する機会を提供する。	歴史自然資料館において、市内の文化芸術団体と連携し、赤山の歴史、文化を活かした多彩なジャンルの文化芸術を体験する市民参加型ワークショップを実施する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・平成31年1月20日(日)「遊べる折り紙 動く折り紙に挑戦しよう！」(来場者66人、うち参加者41人) ・平成31年2月2日(土)「節分ワークショップ刀を持って鬼退治!!」(来場者67人、うち参加者36人)	項目	実績	単位
		ワークショップ開催回数	2	回
事業の成果【定性的評価】	折り紙、ちゃんばら等多彩なジャンルをテーマにしたワークショップを開催したことにより、幅広い分野の文化・芸術を体験できる機会を、文化財課と連携・実施できたとともに、活用の一助になった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ワークショップの来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	ワークショップ参加者定員の100%				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況			77	未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	07細々目	歴史自然資料館活用事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	—	—	159	1,084	1,184					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	159							
財源※	特定財源(C)	—	—	0	0					
	一般財源(D)	—	—	159	1,084					
概算人件費(E)	—	—	1,975	2,607	2,607					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.25	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	2,134	3,691	3,791					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	今後も多彩なジャンルからテーマを選定し、事業を引き続き開催していくことにより、地域独自の文化プログラムによる文化芸術の振興、及び文化的機運の醸成につなげる。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23300722	事業名称	美術館建設基本構想策定事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先 258-1116(#76-2112)	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	美術館	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の文化芸術の振興の推進をはかり、心豊かな活力ある市民生活の実現に寄与することを目的として、美術館を建設するにあたり、基本構想等策定する。	・川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会設置 ・川口市美術館建設基本調査及び基本構想策定支援業務委託、市民アンケート調査実施 ・美術館建設基本構想(素案)の作成	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・美術館建設に関する市民アンケートの実施 ・審議会開催(年5回) ・美術館建設基本構想(素案)の作成	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	・市民アンケートの実施により、美術館建設について広く聴取した意見等を反映させ、市民ニーズに即した構想を作成した。 ・新たな課題を抽出でき、次年度の基本計画策定の足がかりをつけた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	08細々目	美術館建設基本構想策定事業	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	—	—	10,508	—	—			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	9,851	—	—			
財源※	特定財源(C)	—	—	0	—			
	一般財源(D)	—	—	9,851	—			
概算人件費(E)	—	—	2,844	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.36	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	12,695	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	31年度は基本計画策定のため、美術品収蔵施設の検討、より具体的な事業活動の検討、広報等を行っていく。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	23300801	事業名称	旧芝園中学校アトリエ利用事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	創作活動の場を希望するアーティスト及び市民	活動に参加する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	創作活動の場所に窮しているアーティストに対して活動の場を提供することでアーティストの育成及び支援を図り、併せて、施設での活動としてワークショップ、発表会等の市民が参加交流出来る場を設けることにより、市民の文化芸術の造詣を深め、本市の文化芸術活動の振興を図る。	旧芝園中学校の空き校舎の有効活用として平成25年10月より5年の期間一般教室、特別教室をアーティストへ活動場所として提供(管理団体:一般社団法人アブリユス)。また、イベントとしてワークショップを開催。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	一般社団法人アブリユスによるワークショップの実施。小学校のクラスごとに全員で一枚の布(3m×3m)に自由に即興で描画する。	項目	実績	単位
		ワークショップ委託回数	1	回
事業の成果 【定性的評価】	・芝小学校6年生50人、幸町小学校5年生及びさくら学級生徒100人を対象としたワークショップの実施。・自由な描画により一人ひとりが個性の尊重と活かしあいを体験し、交流を図るとともに、美術に対するプロの視点から学習を提供でき、貴重な特別授業になった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	アーティストの登録人数			指標・目標値の説明(算定式)	貸出し部屋数(17部屋)×2名					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	42 達成		42 達成		65 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	05細々目	旧芝園中学校アトリエ利用事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	250	300		361		—		—		
決算額(B)=(C)+(D)	250	300		324						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		—		
	一般財源(D)	250		300		324		—		
概算人件費(E)	1,230		1,170		948		—		—	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.12	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,480		1,470		1,272		—		—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	事業期間中、ワークショップ等で近隣住民の方と文化を通して交流が生まれるなど自治会や企業との連携で事業を進め、アートを通してネットワークづくりに寄与したほか、成果物をアートギャラリーで発表するなど、他の施設との連携にも寄与した。今後は活動場所を移して継続的に事業が進められるよう協働体制を構築する。	元年度	完了
		2年度	—
		3年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23300811	事業名称	特別展覧会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、アーティスト	鑑賞、交流する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	日本芸術院会員である洋画家、故・塗師祥一郎氏の遺族の裕一郎氏より、多数、寄贈を受けた作品を一堂に展示し、また、市民に身近な施設(リア)で優れた作品を鑑賞する機会を提供し、市民の文化芸術への意識の向上に資するもの。	・平成31年1月5日～12日「塗師祥一郎寄贈作品展」開催(リア展示ホール) ・図録の作成、販売	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・塗師祥一郎寄贈作品展 ・記念講演(埼玉県立近代美術館長 建昌 哲 氏)1月6日開催 ・公募作品「川口の風景」展示 ・川口の風景を題材とした「紫の会」俳句展示	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	2,481人の来場者をもって、盛況のうちに展覧会は終了した。また、開催場所がリアであり、「川口の風景」を公募したことによっても、市民に身近な展覧会となり、文化芸術への意識向上に寄与した。来場者アンケートにおいても、満足度が非常に高かった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	展覧会来場者			指標・目標値の説明(算定式)	5,000人(H30川口市美術展来場者数と同程度)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	実績値・達成状況			5,000			2,481	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	09細々目	特別展覧会事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	—	—	9,435	—	—					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	8,594							
財源※	特定財源(C)	—	333	—	—					
	一般財源(D)	—	8,261	—	—					
概算人件費(E)	—	—	2,844	—	—					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.36	0.00	—	—	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	11,438	—	—					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	寄贈作品を一堂に展示したことにより、市の所有する美術作品の価値を再認識させることが出来た。また、それにより市の美術分野の施策が不十分であることの課題(収蔵施設が無い、展示会場の不備)が抽出できた。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	23300901	事業名称	文化団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	258-1116(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市民音楽協会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会	文化団体の活動を体験する、鑑賞する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことを通し、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会への補助金の交付	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	・補助金交付2団体 ・市民の自主的な文化芸術活動の振興と事業に携わる、人材の育成及び交流を図ることが出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。					
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	124		117		122					
指標②	名称	川口市民音楽協会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。					
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	61		62		62					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	003細目	01細々目	文化団体補助事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	1,650	1,650		1,650		2,356	2,356			
決算額(B)=(C)+(D)	1,554	1,650		1,650						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,554		1,650		1,650	2,356			
概算人件費(E)	1,066		1,014		948		948		2,607	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.13	0.00	0.12	0.00	0.33	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,620		2,664		2,598		3,304		4,963	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	今後若い世代をどのようにして増やしていくかが課題であるが、団体に対して行政からも情報の提供、助言などを適宜行っていく。31年度は、文化団体連合会のホームページ新設、初心者教室の実施を予定しており、さらなる市民の芸術振興、文化による人材育成と交流を図る。	元年度	拡充して実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	23301001	事業名称	アートギャラリー事業運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び文化共催展などの関係団体(市内学校、川口市美術家協会など)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	文化共催展などの関係団体等に美術の鑑賞・創作活動の場を提供することで、市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術非常勤特別職・アドバイザーに伴う報酬・報償の支払い</li> <li>・展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究</li> <li>・共催展に関する展示、印刷物の配布</li> <li>・美術及び館運営等に関する情報収集</li> </ul>		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の館運営の参考となりそうな展覧会等の調査・研究、並びに美術・館運営に関する情報収集のため職員を派遣した。</li> <li>・各種共催展の展示やそれに関する印刷物の配布を行った。</li> <li>・17団体、90日の貸館利用があった。</li> </ul>	項目	実績	単位
		川口市美術家協会選抜展	1,249	人
		川口市小・中・高校硬筆展覧会	6,112	人
		川口市小・中・高校書きぞめ展覧会	4,702	人
事業の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	共催・連携事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	17,075 達成		17,302 達成		16,932 未達成				
指標②	名称	貸館利用の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	貸館利用者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	7,004 未達成		8,284 達成		8,627 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	001細目	01細々目	アートギャラリー事業運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	13,643	15,255		16,583		16,544		16,544		
決算額(B)=(C)+(D)	12,391	13,501		15,502						
財源※	特定財源(C)	2,969		1,910		2,105				
	一般財源(D)	10,686		10,532		13,592		14,439		
概算人件費(E)	14,760		14,040		14,220		14,220		14,220	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,151		27,541		29,722		30,764		30,764	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	広報がわぐちや隔月刊発行ニュース等で広報を行っているが、共催・連携事業は大幅な増減がないものの、貸しギャラリーの内容によって入場者が少ないことがある。共催・連携事業においては、学校等との連携を図りつつ、新聞等のメディアやウェブ等の積極的に活用しながら広報を強化し、市内外問わず幅広い情報発信ができるよう更なる改善を目指す。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施